

SHITOKAIDO ULTRA MARATHON

東海道五十七次ウルトラマラニック 2017

STAGE 3-4 6月24日(土)
6月25日(日)

小田原宿-府中宿 (神奈川-静岡)

100km OVER NIGHT STAGE

REGULATIONS

東海道五十七次ウルトラマラニック2017

24-25.Jul.2017
STAGE3-STAGE4

小田原宿-府中宿



STAGE3-4 小田原宿-府中宿

本年度は東海道最大の難所「箱根峠」を越える100kmの道程はオーバーナイトステージとして設定される。つまりこのステージにはビバークが用意されていない。

ウォークの部の制限時間は29時間(ランの部26時間)。時間は十分にある。

しかしうかうかしていると箱根は漆黒の闇に包まれるだろう。

薩埵峠から眺める富士と駿河湾は朝日に染まっている。

かつて旅人は一日十里の旅路を進み、約二週間で東海道を往来しました。東海道UMは、江戸時代の旅人の如く、宿場町の人々と交流を深め、地場の銘産を味わい、そして数々の歴史的名所を楽しみながら目的地に歩を進める壮大なスケールの大冒険です。マラソンとピクニックを合わせた造語「マラニック」では、単に速さを競うだけではなく、ルートマップに従い東海道を辿り、決められた関門時間内に五十七の宿場町を通過し、通行印版を集めながら次の目的地を目指します。また仲間たちと旅話に花を咲かせ酒を酌み交わすビバーク(宿泊地)の一夜はステージレースの醍醐味です。家康や竜馬も歩いた路。東海道五十七次ウルトラマラニックは毎月第四週末、7ヶ月全15ステージで開催。宿場町の温かいおもてなし、息を呑むような絶景、そして随所で感じられる歴史の息吹。さあ、旅の一步を踏み出しましょう。

旅人王決定戦 ウォークの部

飲んで食べて観て喋る。東海道のオイシイところを漏れなく楽しめるのがウォークの部。ただし変化に富んだ十里の道程を関門時間内(時速4km弱で設定)に通過するのは決して容易ではないだろう。

飛脚王決定戦 ランの部

一日十里を駆ける道程はランナーにとっても過酷な旅となるだろう。但し関門の設定は時速6km弱。しっかり走れば十分に東海道の旅風情を楽しむこともできるだろう。駆け抜けろ！飛脚の如く！

本大会は、各宿場に設けられたチェックポイントを通過し、制限時間内にゴールを目指すステージレース(複数日開催競技)です。順位はゴールまでの所要タイムとタイムペナルティ(CP不通過など)の合計で決定します。なお本大会は一般公道を使用しますので、参加者は交通法規を遵守すると共に、地域との交流や環境への配慮を最優先するものとします。

主催	東海道五十七次ウルトラマラニック実行委員会
後援・協賛	NPO法人歴史の道宿駅会議、SSER ORGANISATION、(社)日本ロゲイニング協会、各自治体 ナチュラム、コールマン、イトイテックス、シュピゲン、ヒラソル、ケシュア、カレンジ
種目	①旅人の部(ウォーク) ②飛脚の部(ラン)
開催日程	6月24日-25日 STAGE3-4 小田原宿～原宿(レストポイント)～府中宿
開催場所	東海道五十七次(小田原宿～府中宿)約100km / OVER NIGHT 集合場所：小田原城址公園 解散場所：駿府城内
コース及びCP	コース及びチェックポイントは受付時及び各ステージブリーフィング時に配布するマップに記載
制限時間	開催日程欄に記載・各CPの閉門タイムはブリーフィングにて発表
タイムオーバー	制限時間に間に合わない場合は回送車にて次のCPもしくはゴールまで移動していただきます。競技への復帰は認められますが、総合順位、タイム計測の対象外となります。
参加費	①旅人の部：24,000円 ②飛脚の部：24,000円
参加費に含まれるもの	2日間の大会参加費、各宿場での飲食)、レストポイント休憩、食事、参加賞・保険
参加資格	①18歳以上の健康な男女 ②交通法規を遵守するもの ③地域との交流に配慮できるもの ④環境に配慮できるもの ⑤地図が読めるもの ⑥一般公道を利用する長距離競技である事を認識し、自己責任で参加できるもの。
募集人数	募集人数：最大100名※最低催行人数：50名
申し込み方法	ランネット/モシコム/公式ホームページ
募集期間	一般エントリー期間：～2017年6月17日
競技中必携装備	ヘッドライト、後方照射用ライト、携帯電話、マップケース(A3)、マイカップ、水筒、筆記用具
ビバーク装備	テント(レンタル可)、マット、シュラフ、食器 ※その他気温、天候を考慮し準備 本年よりマイテントの持ち込みを認めます ※重量3kg未満の小型テントに限る
ビバーク(宿泊)	本STAGEはOVER NIGHTのためレストポイントの設置になります

※各ポイントの場所、距離は目安です。詳細及び閉門時間の詳細は当日のブリーフィングにて発表します。

STAGE 3-4 6月27日(土)- 28日(日)		
	宿場名	CP開設予定地
START	小田原宿	小田原城址公園
CP1	箱根宿	箱根関所前
CP2	三島宿	三嶋大社前 山本食品 門前せせらぎ店
CP3	沼津宿	沼津城址公園
CP4	原宿	田子の浦 ※レストポイント
CP5	吉原宿	かりんとう 和田屋
CP6	蒲原宿 由比宿	※蒲原宿・由比宿 合同CP エビゲート公園
CP7	興津宿	興津交番横公園
CP8	江尻宿	追分茶屋
GOAL	府中宿	駿府城址公園

■ペナルティ一覧

30分	主催者及びオフィシャルの注意、指示に従わない場合
60分	CP不通過(1回目) スタート時間に間に合わなかった場合 必携装備を所持していなかった場合(1回目)
90分	CP不通過(2回目)※2回不通過の場合は150分(1回目60分+2回目90分)となる
120分	主催者及びオフィシャルの注意、指示に従わない場合(同一事項を二回以上) CP不通過(3回目以上)※3回目以上は総和が加算される 必携装備を所持していなかった場合(2回目)
競技終了 ※競技を中止しビパーク に回送。翌日からの競技 参加は可能です。	各関門の制限時間に間に合わなかった場合 日没(日の入時間の30分前)時点で全後方ライトの照射ができない場合 何らかの理由で回送車に乗車した場合 何らかの理由で公共交通機関などを利用した場合
失格処分 ※失格処分となった場合、 大会の継続参加、コース 及びビパークへの立ち入 りは認められません。	主催者及びオフィシャルの注意、指示に従わない場合(同一事項を三回以上) 交通法規違反・ゴミのポイ捨てなどマナー違反 暴力、暴言などモラルに反する行為 競技中、主催者に連絡なく車両または公共交通機関を利用した場合 抗議方法に準じない形式でのオフィシャルへの抗議※抗議方法は下記参照 必携装備を所持していなかった場合(3回目)

■抗議の方法

リザルト、ペナルティなどあらゆる事項に対して抗議がある場合は、抗議の内容を書面にて実行委員に提出してください。なおその際に供託金として金5,000円を添えるものとします。実行委員の採決により抗議の内容が認められた場合は供託金は全額返還され不当な抗議と認められた場合は没収となります。
※これは不当な抗議の乱発を防止するための国際的ルールです。

■リザルト



リザルトはスタートからゴールまでに要したタイムとペナルティタイムの和で決定します。各ステージの順位、総合順位は各ビパークのインフォメーションボードに翌日のスタート時までに掲示します。

■スタート時間

主催者の判断により、タイムトライアル方式、ウェーブスタート方式を採用する場合があります。その場合はインフォメーションボードに各スタート時間を掲示しますので確認してください。

本大会は一般公道を利用しますので、交通法規を遵守し、自己の責任で安全性の確保に努めて下さい。また地域の方々への配慮やゴミのポイ捨てをしないなど環境に留意してください。交通法規の違反、モラル、マナー違反についてはペナルティ及び失格処分など厳しい罰則が課せられます。また真夏の炎天下に開催されるウルトラエンデュランスレースであることを認識し、十分な体調管理を行って下さい。大会中に生じた事故、怪我、病気などについて主催者は一切の責任を取りませんので予めご了承ください。

■コマ図の読み方

KM-TOTAL	DESIGNATION	COMENT
INTER		
① 21.24	③  HIGH WAY	④ 高速道路下
② 0.43		
⑤ 22.13	 CVS	横断注意!
0.91		

コマ図とは距離と絵地図で表現されたルートマップです。

①	スタート地点からの距離
②	前の図からの距離
③	コマ図
④	注意書き
⑤	スタートから22.13km(前のコマから910m)地点。 カフェ、コンビニ、信号機がある交差点を左に横断

※GPSなど距離計測装置は不要です。開会式で説明します。

東海道五十七次ウルトラマラニック競技規則

◆公式通知

大会1週間前までにメールにて公式通知が送付されます。集合場所、受付時間などを事前にご確認下さい。

◆受付

ウォークの部は8:00~9:00、ランの部は10:00~12:00の間、スタート会場にて受付を行います。ゼッケン、通行印版(チェックカード)、参加賞を受け取って下さい。

◆装備チェック

受付時装備チェックを行います。前方照射用ライト、後方照射用ライトについては特に厳しくチェックしますので交換用の電池も含め必ず準備してください。なお各ステージ、日没時刻の30分前の時点で全後方二方向のライト照射ができない状態の場合その場で競技を中止し、回送車でビバークまで移動していただきます。また必携装備については各ステージゴール時にランダムにチェックを行い、不携行の場合はペナルティが課せられますのでご注意ください。

◆マイカップ

本大会は環境に配慮するために使い捨てコップは利用しません。各宿場町、エイド、ビバークで提供されるドリンクを入れるためのマイカップをご持参ください。※2016年大会より採用

◆ブリーフィング

各ステージ、スタートの30分前にブリーフィングを行います。ブリーフィングでは各チェックポイントの開設時間、閉鎖時間などを発表しますので必ず筆記用具をお持ちください。

◆インフォメーションボード

各ステージ、受付又は本部テント横にインフォメーションボードを設置します。インフォメーションボードにはリザルトの他、重要な情報を掲示することがありますので必ずチェックするようにしてください。

◆荷物預かり

レストポイント及びゴール地に搬送する荷物は参加賞として配布するナップサック(45L袋・650×800mm)に収まるサイズ、かつ重量20kg以内とします。預け荷物はスタート30分前までにインフォメーションボードに記載される場所で預けて下さい。なお袋の中にビニールを入れるなど各自防水対策を行ってください。マイテントを持ち込みの方も同様に預けて下さい。預け荷物の搬送管理には万全を期しますが破損、逸失などについては主催者は一切の責任を負いかねますので予めご了承下さい。ゴール地に直送する荷物はスタート地点にて運送会社にお預け下さい。

◆スタート

スタート時刻は一斉スタート又はゼッケン順のウェーブスタート方式となります。スタート方法はブリーフィングにて発表します。

◆交通法規とモラル

本大会は一般公道を利用します。特別な交通規制や道路封鎖をするマラソン大会とは異なり、交通法規を遵守することを原則とします。また地域の方々との交流や環境への配慮を怠らないように留意してください。交通法規に違反した場合、地域住民の迷惑となる様な言動、ゴミのポイ捨てなどモラル違反などについては、所定のタイムペナルティまたは失格処分が課せられますのでご注意ください。

◆コース

配布されるルートマップに従い旧東海道を進んでください。ルートから外れるとチェックポイントを通過できない場合があります。なお途中安全上の理由で旧東海道を外れる場合があります。

◆チェックポイント(CP)

東海道五十七の宿場町および主催者が設定する場所にチェックポイントがあります。チェックポイントではタイム計測及び通行印版にスタンプを押印します。また軽食及び飲料を用意していますのでお寛ぎ下さい。

◆制限時間

閉門タイムが設けられているチェックポイントへの到着が間に合わない場合は、回送車でビバークに移動していただきます。なお回送車に乗車した場合でも翌日からの競技復帰が可能です。総合順位の対象とはなりません。

◆ケイタリング

レストポイントでの食事を用意します。

◆テント・宿泊

本STAGEにビバークはありません。原宿にてテントでの仮眠ができるレストポイントを設けます。

◆携帯電話など充電について

レストポイントには電源など充電できる設備はありません。携帯バッテリーなどをご用意ください。

◆メディカル

主催者は救急時以外、医療器材の提供、搬送などを行いません。靴擦れなどの対処(消毒、ガーゼなど)、筋肉、関節疲労への対策(テーピング、サポーター)、その他鎮痛剤、整腸剤、風邪薬など医薬品は各自ご用意下さい。

◆お風呂

駿府城(静岡駅)付近にはありません。隣駅の東静岡駅徒歩1分にスーパー銭湯(9:00～0:00)があります。

◆リタイア

本大会はステージごとのタイム及び総合タイムによりステージ順位、総合順位を決定します。当該ステージでリタイアした場合、総合順位は付きませんが翌日からのステージには参加することができます。なお何らかの事由でリタイアし、大会から離脱する場合は必ず主催者に連絡をいれて下さい。

大会サポーターについて

私設エイド

私設エイドを予定されている方は主催者にご連絡下さい。
ルートインフォメーション及び各宿場町などエイド適地をご紹介します。

オフィシャル

大会オフィシャル(サポートスタッフ)を募集しています。
主要メンバー(年間複数回参加、事前に参加表明いただける安定要員、車両持ち込みが可能な方)にオリジナルオフィシャルスーツとウインドブレーカーを進呈。
各回参加の方にはオリジナルTシャツをプレゼントします。
エントラントとして参加くださった皆様も是非ご参加ください。
交通費、前泊費用、大会中夕食、朝食支給します。
参加希望の方はオフィシャル専用のFacebookグループに招待しますので、お声がけください。

2017年大会 開催日程

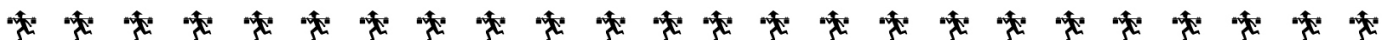
■東海道五十七次ウルトラマラニック 2017

05月27-28日 東京日本橋～戸塚宿泊～小田原宿 約86km
06月24-25日 小田原宿～府中宿泊 箱根峠100K OVERNIGHT
07月22-23日 府中宿～島田宿泊～浜松宿 約77km
08月26-27日 浜松宿～吉田宿～岡崎宿 約73km
09月23-24日 岡崎宿～宮宿泊～四日市宿 約79km
10月28-29日 四日市宿～三条大橋 鈴鹿峠100K OVERNIGHT
11月25-26日 三条大橋～守口宿泊～大阪高麗橋 表彰式典 52km

※お申し込みは、ランネット・モシコム・公式HPにて！

「かつて、旅人は一日十里を歩んだ」

かつての旅人の如く、東海道の旅路に行く。
宿場町での交流、地場の名産、そして数々の名所。
ビバークで旅の話に花を咲かせ、疲れを癒す。
家康や竜馬も歩いた歴史街道。東海道五十七次ウルトラマラニックは毎月第四週目の週末、7ヶ月全15ステージで開催。壮大な冒険に出かけましょう！



【グレートモンゴリア・ゴビ・デザートマラソン】

完走者の中から選ばれし者に、6日間でゴビ砂漠250kmを駆け抜けるゴビデザートマラソンへの招待状を進呈します。

東海道から世界へ！世界から東海道へ！

公式ホームページはこちら <http://www.sser.jp/gmgm/>

東海道五十七次ウルトラマラニック

実行委員会/事務局

〒569-0071 大阪府高槻市城北町2-11-13

Email: infotokaido57.org

URL : <http://www.tokaido57.org>

公式facebookページで最新情報更新中

東海道五十七次ウルトラマラニック「箱根」

東海道五十七次ウルトラマラニック 2017年 12月23日(土) - 24日(日)

箱根

■ 箱根駅伝を踏襲したコース

■ 1チーム5名でのエントリー

■ ソロ参加の場合は主催者側でチームマッチング

駅伝発祥から100年目を迎える2017年。箱根路を舞台に東海道五十七次ウルトラマラニック「箱根」を開催。フォーマットは極力箱根駅伝の伝統と形式を踏襲し、217.1km、10区間で襷を繋ぎます。なお本大会は箱根駅伝産みの親、金栗四三氏の想いを継承すべく、箱根駅伝開催100周年となる2020年に開催するアメリカ大陸横断駅伝の選考レースと位置づけます。

主催	東海道五十七次ウルトラマラニック箱根実行委員会 東海道五十七次ウルトラマラニック実行委員会 東海道五十七次ウルトラマラニック飛脚実行委員会
実行委員長	井上 真悟
競技委員長	杉村 晋吾
後援・協賛	NPO法人歴史の道宿駅会議、SSER ORGANISATION、(社)日本ロゲイニング協会、各自治体 ナチュラム、コールマン、イトイテックス、シュピゲン、ヒラソル、ケシュア、カレンジ
競技形式	往路5区間、復路5区間の駅伝競争
開催日程	2017年 12月23日-24日 受付：6時 スタート：両日ともに8時
開催場所	箱根駅伝を踏襲 往路スタート：大手町 特設会場 往路ゴール：箱根（箱根駅伝碑前） 復路スタート：箱根（箱根駅伝碑前） 復路ゴール：大手町 特設会場
宿泊	富士箱根ランド
参加人数	1チーム5名 個人参加(往路、復路各1区出走・希望区間を申請し大会側でマッチング) ※往路復路の希望出走区間と持ちタイム、お住いの地域を考慮し大会側でチーム編成を行います。チームは大会前に交流できるよう事前に随時編成、発表していきます。
個人出走区間	往路復路 計2区間（申込時に希望出走区間を往路復路第一希望から第五希望まで記入）
募集定員	30チーム（先着順）
参加費	24,000円
参加費に含まれるもの	1泊2食 温泉付き・中継地点および宿泊地、ゴールへのバス送迎、参加賞、表彰
参加資格	①18歳以上の健康な男女 ②交通法規を遵守するもの ③地域との交流に配慮できるもの ④環境に配慮できるもの ⑤地図が読めるもの ⑥一般公道を利用する長距離競技である事を認識し、自己責任で参加できるもの。
制限時間	各区間、先頭より30分遅れた時点で繰り上げスタートとします。 ※交通法規については現時点ではマラニック方式(交通法規遵守)するものとします。 ただし主催者は警察および関係各所と協議を行い、先頭グループの先導および道路封鎖を含め、競技性の向上を目指します。
申し込み方法	ランネット/モシコム/公式ホームページ（予定）
募集期間	2017年4月1日～

※内容は一部変更になる場合がございます。
公式ホームページ、公式Facebookにて最新の情報を随時配信いたします。